

全国市議会旬報

第2110・1号

ぜんこくしぎかいじゅんぽう

令和2年 2月15日 (2020年)

毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262) 5234
旬報 TEL 03(3262) 2309
発行人 滝本 純生
<http://www.si-gichokai.jp>

第108回 評議員会

理事会と合同開催へ

運営・活動の効率化等を了承

本会は2月5日、都市センターホテルで第108回評議員会を開いた。各委員長から過去1年間の活動報告があったほか、理事会と評議員会を合同開催する本会の運営見直し案、今年度一般会計補正予算案、来年度各会計予算案などが諮られ、いずれも了承が得られた(2〜5面参照)。

また、災害見舞金制度の見直し案も諮られ、今後は見舞金を廃止し、国に対する要望活動を発災後、速やかに実施することなどで了承を得た。

同見舞金は現在、本会慶用規定第4条で「災害救助法適用時は原則5万円」「市議会庁舎の罹災時5万円」と定めている。近年、全国的に自然災害が頻発していることから

見舞金支出が膨れ、今年度は過去10年間で最多の1398万円に達する見込みなど本会の財政運営に大きな影響を及ぼしていた。

余円に達したことを報告するとともに「被災地の一日も早い復旧と復興をご祈念申し上げます」と述べた。

①理事会と評議員会の合同会議化②2月評議員会での委員長報告廃止③役員予備選考委員会の廃止

「市議会庁舎の罹災時5万円」と定めている。近年、全国的に自然災害が頻発していることから

報告・協議案件に先立ち、講師として招請した総務省の黒田武一郎事務次官が「地方行政の課題」と題して来年度予算案の概要などについて解説した。

会長は続いて来年度税制改正・地方財政対策の概要に触れ、「一般財源総額、地方交付税とも前年度を上回る額が確保され、地方団体にとって大変評価できるものとなった」と述べた。

評議員会はこの後、長谷川岳総務副大臣、藤原崇内閣府大臣政務官の来賓あいさつなどに続いて報告・協議案件の審議に入り、地方行政委員会の川上幸博委員長(出雲市)をトップバッターに各委員長が委員会活動を報告した。

稲田幹事長代行以外の主な要望先は次の通り。岸田文雄自民党政調会長、二階俊博同党幹事長、加藤勝信厚生労働大臣、橋本岳厚生労働副大臣、稲津久厚生労働副大臣、小島敏文厚生労働大臣政務官、自見はなこ厚生労働大臣政務官(2面に要望書)

要望では、地域経済への影響も考え、風評被害の防止にも積極対応するよう求めた。



あいさつする野尻会長

この日あいさつに立った野尻哲雄会長(大分市)はまず、昨秋の台風19号被害で募った義援金への各市議会の協力を謝意を表明、総額1億175万

協議案件では本会の運営・活動の簡素化・効率化した。



稲田自民党幹事長代行に要望書を手渡す野尻会長

新型コロナウイルスによる肺炎が世界的に広がる中、本会の野尻哲雄会長は2月5、6の両日、迅速な検査・治療体制の構築を図り、地方における医療体制の強化を支援するよう、稲田朋美自民党幹事長代行ら政府・与党の責任者に緊急要望

した。

緊急要望 新型コロナウイルス対策 野尻会長